

# 海況速報

平成9年度 第3号 (通算 No.57)  
平成9年9月3日  
北海道立水産試験場

内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

## 7月下旬～8月上旬の海況

### 【日本海海域】

本道西岸には、暖水渦が積丹半島北西沖（中心：200m層水温4℃以上）と岩内湾西方沖（中心：200m層水温5℃以上）にあり、100m層ではこれら二つがつながり、南北方向に長い暖水渦があるように見えています。この北側の渦の東側には、武蔵堆から積丹半島北方にかけて、冷水域（例えば100m層水温7℃以下）が形成されています。そして、本道西岸沖を北上する対馬暖流は、積丹半島北西沖の暖水渦の北端で流路が二つに分かれているようです。一つは暖水渦の西側から利尻・礼文島西沖に直進する流れ、もう一つは暖水渦と冷水域の間を通過して、一度積丹半島まで南下し、その後、雄冬岬西方から北上していく流れのようです。また、松前沿岸近くの50m層以浅では、沖合よりも水温が低く（表面では3℃以上低く）なっています。

水温について見ると、累年平均(\*1)に比べ、北緯44度30分以上の50m層以深では-3～0℃、表面では-1～1℃の範囲が多くなっています。北緯42度30分から北緯43度30分の水温は、累年平均に比べ、50m層以深では暖水渦内を除き-2～0℃、表面では0～3℃の範囲が多くなっています。北緯41度30分線では、累年平均水温に比べ、表面では2～4℃、50m層以深では、最も沿岸寄りでは-2～0℃、沖では0～5℃の範囲となっています。

余市における沿岸水温（旬平均）は、平年値に比べ、7月上旬の-0.5℃から7月下旬の+1.7℃と「平年並み」から一時「かなり高い」状態になりましたが、その後、8月中旬の-1.5℃の「かなり低い」状態に移りました。

### 【道東太平洋海域】

前回（6月）同様、北緯41度以北の海域に入り込んでいる大きな暖水塊（中心：200m層水温8℃以上）は、勢力を保ち続け、また、ほぼ同じ位置にあります。このため、前回同様に親潮は、襟裳岬と暖水塊の間、暖水塊の東側の二つの流路で南下しています。

水温について見ると、暖水塊内を除いた道東沖の親潮水域内の50m層以深では、累年平均に比べ、-3～0℃の範囲内にあり、累年平均よりかなり低いから累年平均並の範囲にあるところが多くなっています。表面についても、根室半島南方海域では-4～0℃、襟裳岬東方海域で-4～2℃となっていて、親潮の上流側から下流側まで累年平均よりかなり低いから累年平均並の範囲となっています。

### 【道南太平洋海域】

前回（6月）は、道南太平洋海域では親潮の影響が少なく、水温5℃以下のところがわずかしかありませんでしたが、今回は、50m層以深に1～2℃台の親潮が日高沿岸側に4月期以降再び現れました。これは、道東海域にある大型の暖水塊が前回以降も襟裳岬沖に離岸していること、津軽暖流が渦モード(\*2)になっていないことのために、親潮が襟裳岬をかわして道南海域に流れてきたものと考えられます。

水温について見ると、累年平均に比べ、道南太平洋海域全域の表面で1～2℃の範囲にあるところが多くなっています。特に、津軽暖流の最高水温を示しているところでは、2.6～4.7℃となっていて、これは、上流側の日本海の津軽海峡西方海域の水温が高いことの影響が反映されているようです。50m層以深では、累年平均に比べ、親潮の影響が強くなった北海道沿岸側で-6～-2℃、その他のところでは0～2℃の範囲のところが多くなっています。

### 【オホーツク海海域】

表面の冷水帯は、前回（6月）はありませんでしたが、今期は形成されていました。また、宗谷暖流は知床岬までオホーツク海沿岸を流れています。

水温について見ると、累年平均に比べ、表面では沖合で-2～0℃、沿岸の宗谷暖流域では-2～2℃の範囲が多くなっています。50m層以深では、累年平均に比べ、沖合で-2～0℃、沿岸の宗谷暖流域では-4～-1℃ところが多くなっています。知床半島の付け根、東経144度50分では宗谷暖流の幅が狭くなり、沖合の冷水が張り出してきているところの50m層で累年平均に比べ-7.3℃となっています。紋別沖では100m層で暖流の幅が広がっているために、累年平均に比べ+2.6℃のところがあります。

---

#### 資 料 〔観測期間〕

青森水試（東奥丸）	平成8年7月29日～同7月30日（東北日本海海域）
稚内・網走水試（北洋丸）	平成9年8月1日～同8月3日（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	平成9年8月1日～同8月5日（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	平成9年7月28日～同7月29日（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	平成9年7月28日～同8月2日（道西・道北日本海海域）
中央水試（北洋丸）	平成9年7月28日～同7月29日（道北日本海海域）

---

\*1: 平成元(1989)年～平成8(1996)年までの平均値を使用しました。

\*2: 津軽暖流が北海道沿岸近くまで大きく蛇行してから三陸方向へ流れる状態。

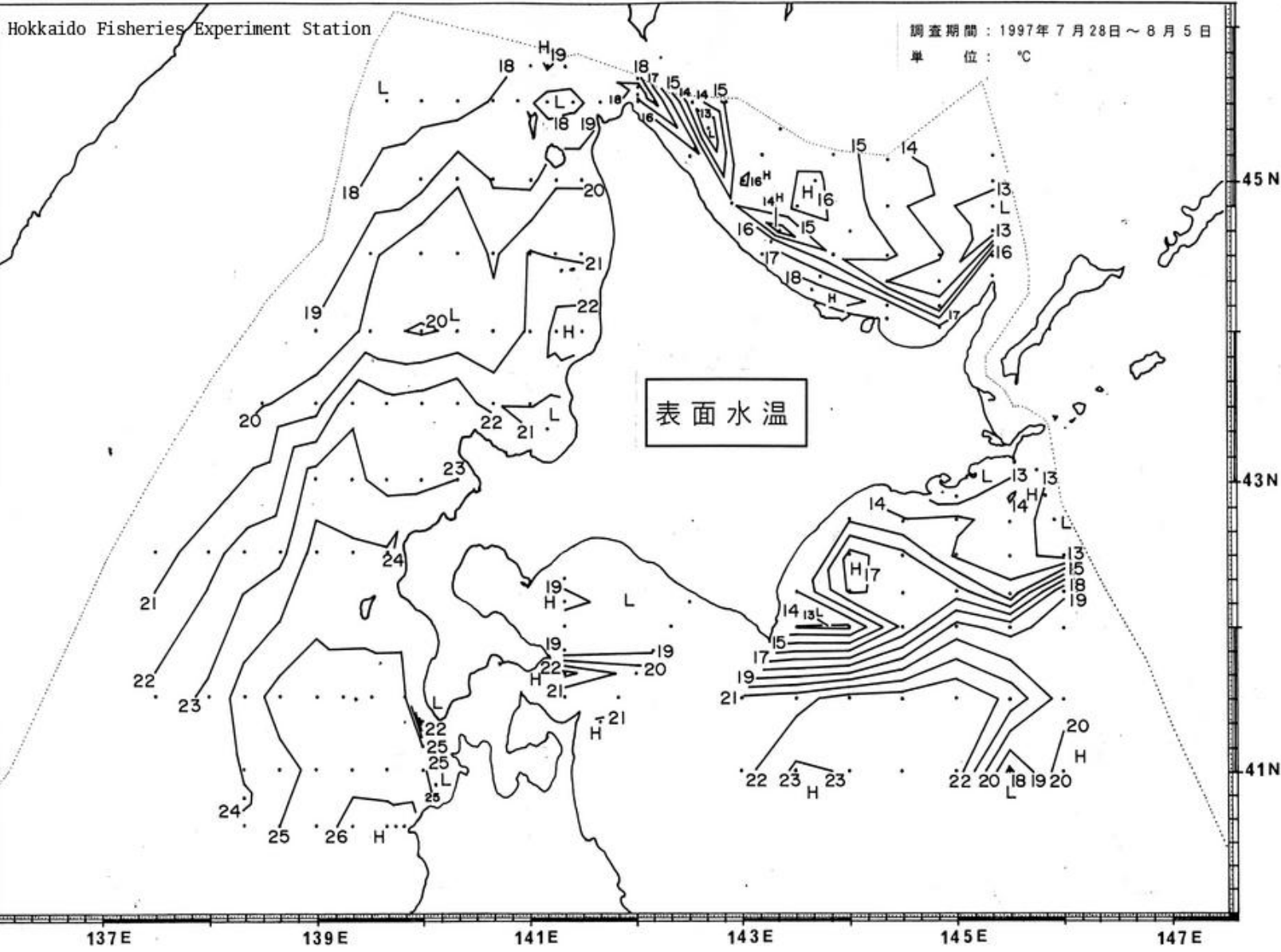
訂正：表面水温の図の印刷終了後に誤りが見つかりました。オホーツク海海域の北緯44度40分、東経143度20分の観測点のところ<14H>とありますが、これは<14L>の間違いです。

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1997年7月28日～8月5日

単位：℃

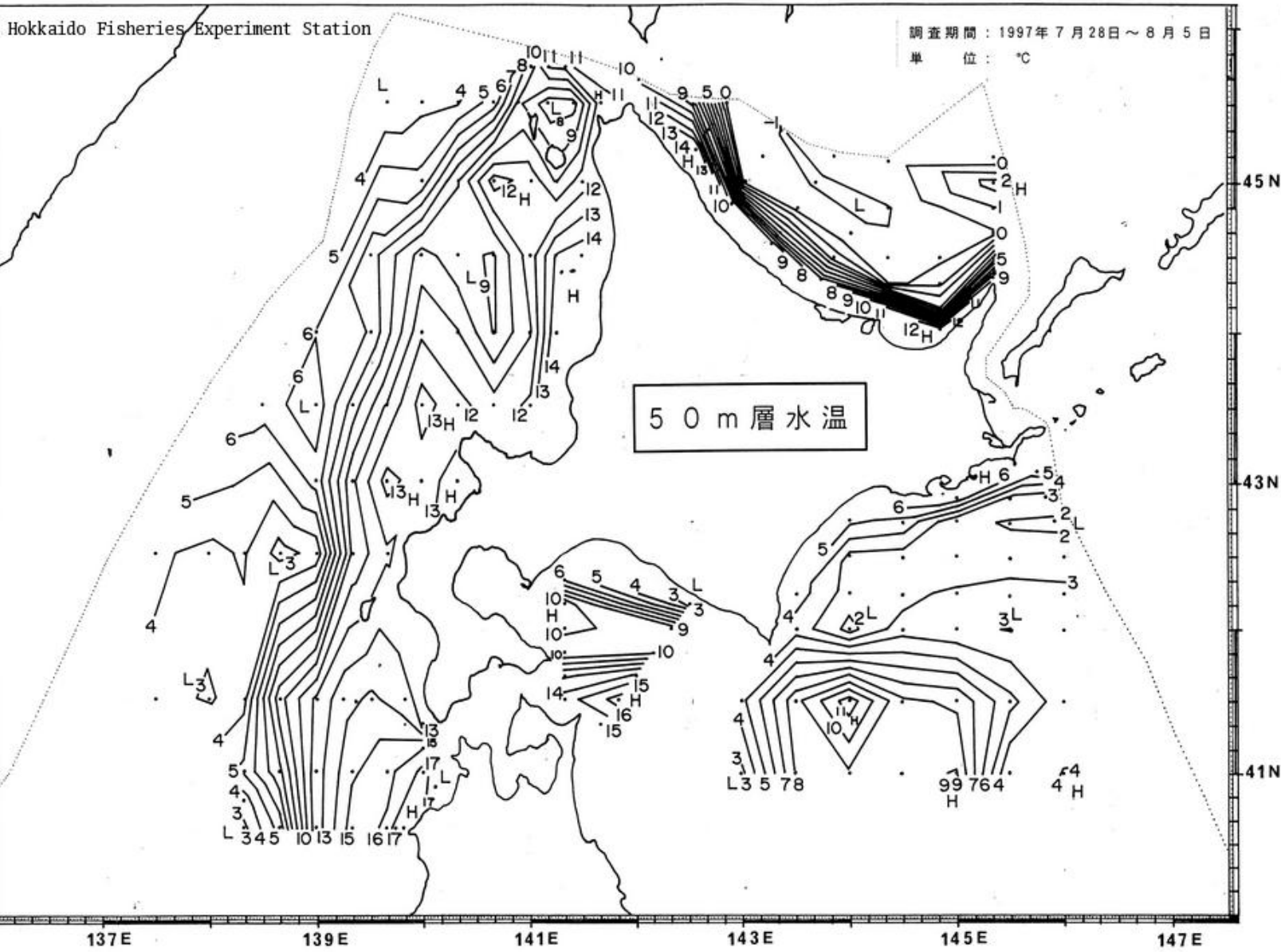
表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1997年7月28日～8月5日  
単位：℃

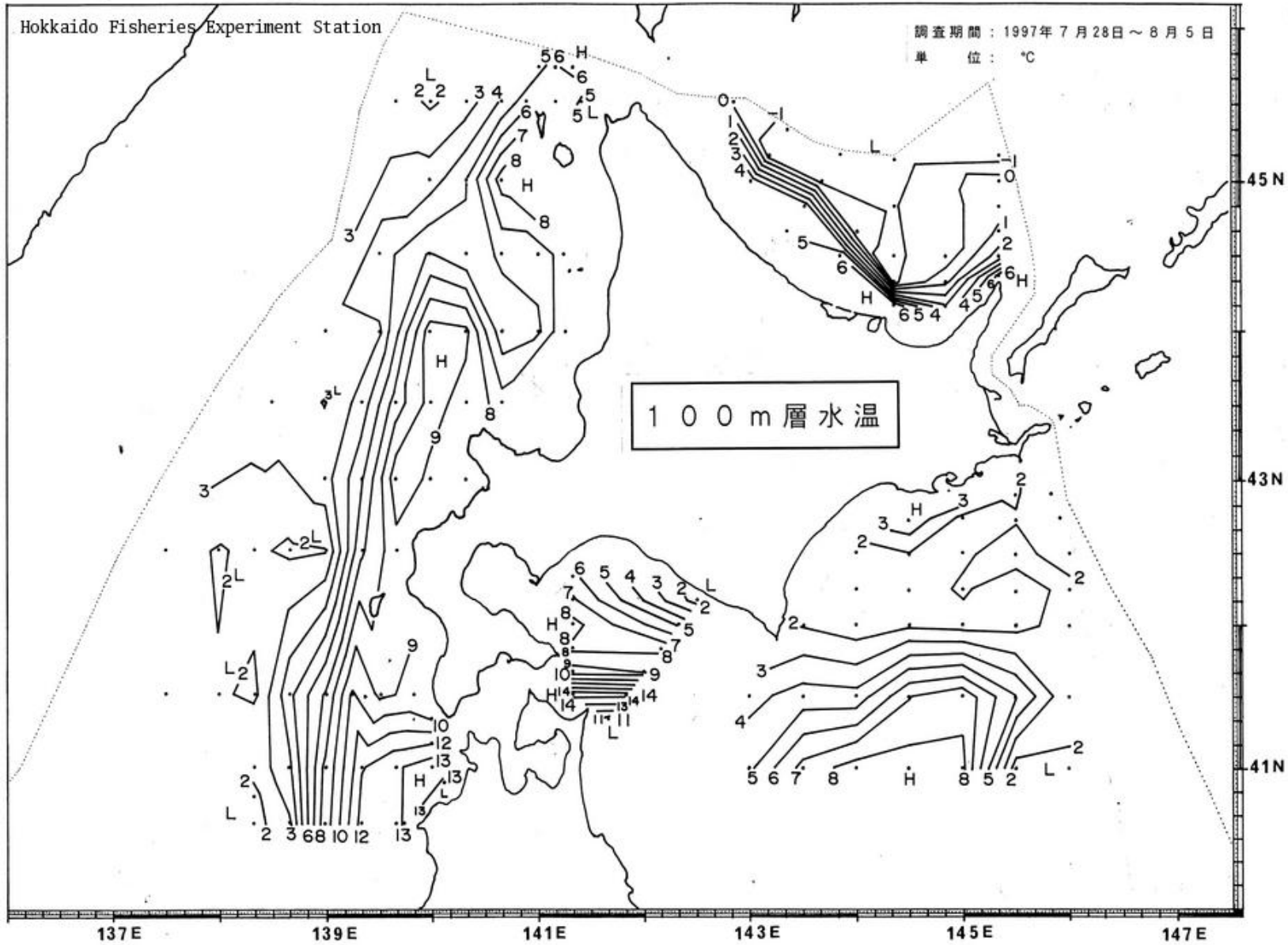
50 m 層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1997年7月28日～8月5日  
単位：℃

100m層水温





Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1997年7月28日～8月5日

単位：℃

200m層水温

